

令和5年度下水道広報プラットフォーム(GKP)収支予算(案)

令和5年2月14日

1. 一般会計

(収入の部)

項目	令和5年度予算額(新)	令和4年度(新)予算額	差異	摘要
1. 前期繰越金	4,600,000	4,637,229	△ 37,229	
2. 未収会費	100,000	100,000	0	
個人会員(令和4年度分)	100,000	100,000	0	未納個人会員100名
団体会員	0	0	0	0社未納
3. 年会費	5,200,000	5,311,000	△ 111,000	
個人会員(終身会員を除く)	0	301,000	△ 301,000	1,000円/年・人
個人会員(終身会費)(C)	0	300,000	△ 300,000	当年度収入(30名)
団体会員	0	4,710,000	△ 4,710,000	30,000円/年・企業・団体
4. 普通預金利息	100	100	0	
5. 特別会計からの繰入金	0	1,430,000	△ 1,430,000	令和2年度繰入金の差額より
計(A)	9,900,100	10,048,329	△ 148,229	

(支出の部)

項目	令和5年度予算額(新)	令和4年度予算額	差異	摘要
1. 総会費	200,000	200,000	0	講師謝金、資料印刷
2. 役員会(理事会)費	200,000	200,000	0	会議費、資料印刷、年3回
3. 企画運営委員会費	200,000	400,000	△ 200,000	委員旅費、資料印刷、年6回
4. 事業活動費	3,781,500	4,456,000	△ 674,500	
1)GKP広報大賞	180,000	230,000	△ 50,000	会議費、受賞者・審査員等活動経費
2)地方活動支援	150,000	200,000	△ 50,000	委員旅費、GKP北海道、チーム九州
3)未来会	720,000	800,000	△ 80,000	下水道展企画、イベント、パンフ等制作等
4)水の天使	0	100,000	△ 100,000	旅費、出演料等
5)マンホールサミット	315,000	0	315,000	実行委員会運営費
6)キッチンバス工業会連携	110,000	207,000	△ 97,000	視察バス借上費、川柳協賛金・副賞
7)マンホールカード	150,000	170,000	△ 20,000	調査費、会議費、資料作成等
8)コミュニケーション研究会	70,000	100,000	△ 30,000	講師謝金、旅費、意見交換会費等
9)東京湾大感謝祭	400,000	500,000	△ 100,000	出展料、水の天使出演料、装飾等
10)BISTRO下水道	420,000	460,000	△ 40,000	下水道展企画、商品開発、取材交通費等
11)下水道プロモーション活動費	270,000	364,000	△ 94,000	FM番組提供、水の週間資料搬出入
12)市民科学	90,000	100,000	△ 10,000	アドバイザー・ファシリテーター等活動経費
13)インフラテクコン	76,500	85,000	△ 8,500	出展料、副賞購入・運搬費等
14)早慶レガッタ	130,000	140,000	△ 10,000	広告費
15)エコプロ	700,000	1,000,000	△ 300,000	小間代、会場装飾費等
16)下水道展	10,000	10,000	0	
5. 事務委託費	2,283,000	1,720,000	563,000	業務委託費
6. 事業事務費	1,232,000	3,802,329	△ 2,570,329	パンフ制作、HP維持管理、会員証発行、予備費等
計	7,896,500	10,778,329	△ 2,881,829	
7. 終身会費への積立金	300,000	700,000	△ 400,000	過年度繰入金(10万×4年)+当該年終身会費(30名見込)
計(B)	8,196,500	11,478,329		
収支差額(A)-(B)	1,703,600			

2. 特別会計(終身会費積立金)

2/9時点 未対応

(収入の部)

項目	令和4年度予算額(新)	令和3年度予算額	差異	摘要
前年度からの積立金	3,570,000	3,570,000	0	
当年度終身会費収入	300,000	300,000	0	終身会員 新規入会30名(見込)
一般会計からの繰入金	400,000	400,000	0	
計(a)	4,270,000	4,270,000	0	

(支出の部)

項目	令和4年度予算額(新)	令和3年度予算額	差異	摘要
一般会計への繰入金	1,430,000	0	1,430,000	令和2年度繰入金差額として
計(b)	1,430,000	0	1,430,000	
収支差額(a)-(b)	2,840,000			終身会費残高

※令和3年度予算について、予算成立までの期間は前期繰越金の範囲で必要最小限執行できるものとする。

※本年度(令和3年度)より、終身会費は、支出に終身会費への積立額を計上し、あわせて別表にて収支を記載することとする。